

お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つきだて花工房の宝石箱です



紺野家親族会様(栃木県)

今では珍しい4世代家族、月舘町斎藤様のご親戚。昨年までは5世代。びっくりですね。栃木県より90歳を超えるおじいちゃんも宿泊されました。健康の秘訣を教えてくださいですね。



月舘を愛する会様(東京都)

旧月舘町の時に発足された東京月舘会。今回、再びの呼びかけで故郷にお帰りになり、懐かしいお話で会話が弾んでいました。いつでも花工房は心のふるさととのこと。「おかえりなさい」



寺島様(伊達市・月舘町)

寺島家の、三番目のお嬢様のご結婚が決まり、両家の顔合わせで利用されました。この日はあいにくの雨でしたが、皆さんの心は晴れ晴れ。祝酒も進んだようでした。遠く栃木に嫁がれる娘さん、どうぞお幸せに。



伊達市ふれあい交流GB大会様(伊達市)

花工房ご利用が今回で3回目となる皆さんです。泊りがけて2日間ゲートボール大会をされ、表彰式を兼ねてお食事をされました。元気を頂きました。



健幸都市づくり課様(伊達市)

伊達市は健康推進しています。2日間にわたり、各町の方々が身体を「動」かし、心も喜ぶ「食」とともに元気いっぱい「楽」しみましょう! をスローガンに、元気づくりを体験されました。



クリスマスリース作り

福島でお花屋さんを営む佐藤実花さんを講師に迎え、プリザーブドフラワーを使ったクリスマスリース作り体験を行いました。はじめは戸惑っていた参加者のみなさんも次第に夢中になり、個性の光る作品に仕上がりました。



こんにゃく作り体験

昔ながらの、芋から時間をかけて作るこんにゃく作り。講師の菅野ミヨさんは地元の農家で食品加工の名人。参加者の皆さんは体験してみなければわからないコツを掴み、さっそく自宅用にこんにゃく芋を買い求めています。



午後の小さな朗読会 つきだて花工房リーディングアラウドの会のメンバーが花工房のロビーで朗読をします。

午後のひとときを心温まるお話で過ごしてみませんか。参加費無料。平成28年2月13日(土)15:00～ 沢村貞子作「私の浅草」

田舎では、今でも「小間物屋」のようなお店があり、その店頭には竹かごなどが飾られているのを見ることがあります。目の詰まった米とぎ用のザル、目の大きく開いた芋洗いかご。中には川魚漁に使うようなものも見受けられます。

当たり前のことですが、工業製品ではない竹は一本一本個性を持っています。曲げやすいもの、折れやすいもの。素直な竹、癖の強い竹。もちろん、竹の種類によっても使い方は異なります。その一つ一つを見極めながら編んでいく竹細工の技術は、一朝一夕に習得できるものではないと同時に、はるか昔の先人たちが試行錯誤しながら築いてきたものでもあります。

季節の一品
鶏肉と根菜の豆乳煮



材料 (4人分)

鶏もも肉	400g	豆乳	600ml
ゴボウ	40g	生クリーム	100ml
人参	40g	バター	30g
大根	40g	塩・コショウ	適量
レンコン	40g	薄口醤油	少々
玉ねぎ	40g	コンソメ	2個
おろししょうが	少々	サラダ油	適量

- 鶏肉と玉ねぎを一口大に、ゴボウと大根は乱切りに、人参とレンコンはいちょう切りに、それぞれ切って下茹でしておく。
- 鍋にサラダ油を熱して①の鶏肉と野菜を炒め、豆乳を材料がひたひたになるくらいに入れて中火にかける。
- 沸騰してきたら弱火にして塩・コショウ・おろししょうがと薄口醤油・バター・コンソメを加え、味を整える。
- 仕上げに生クリームを加えて完成。

厨房のイチオシ!

12月から衣替えしたお膳の献立からおすすめをご紹介します! まずは手作りこんにやくを柚子酢味噌で召し上がりいただく一品です。手作りならではのこんにやくの食感と柚子の香る味噌の相性は抜群です。
次に伊達鶏のメンチカツです。カラッと揚げたメンチカツを割ると、コクのある肉汁が溢れます。そのほか、鱈とだいこんのお鍋や月替わりの釜めしなど、温かいお料理をご用意しています。ぜひ、ご賞味ください。

た物語2作品が取り上げられました。一つは古典「竹取物語」を構成したお話。もう一つは現代のお話。男の子からいじめられていた女の子が、竹やぶで出会ったおばあさんとのふれあいの中で自信を取り戻していく、というお話。

おばあさんは竹細工の職人。竹を割って器用に竹ヒゴを作り、かごを編んで女の子にプレゼントします。話の内容から、使われた竹は篠竹ではないかと推察されます。もともと、作るものによって材料が違うので、大きな、目の粗いかごであればほかの竹が使われたのでしょうか。

今や高級品の感もある竹細工ですが、かつては生活必需品でした。かごはもちろん、ざるや網じやくしなど、農具や台所用品。細く裂くことでいろいろな形にすることができ、

ある程度の強度もあり、水にも強い竹は優れた自然素材のひとつだったのです。

今やザルなどの生活必需品はステンレスやプラスチックなどに取って代われ、竹の出番はすっかりなくなってしまう。伐採されることのなくなった竹は次第に勢力範囲を広げ、生活領域を圧迫するほどになっています。また、材料を作ること自体にかなりのスキルが必要な竹細工は受け継ぐ人がどんどん減り、絶滅危惧技術といってもいいでしょう。竹細工の技術が絶え、石油が枯渇してしまった時、果たしてこの技術を再び自分達のものとしてできるかどうか。そう遠くない未来にやっつきそうな事態を見据えて、今から技術を受け継ぐべきかもしれません。はて、間に合うかどうか。



晩秋に贈る小さな朗読会 #14

すっかり秋の恒例イベントとなった「晩秋に贈る小さな朗読会」。14回目となった今秋の朗読会は竹をテーマとした物語2題。

一つ目は「竹取物語」を題材として、朗読の島岡安芸和さん自らがアレンジした「なよ竹のかぐや姫」。この物語では、女優の岸本真依さんがかぐや姫に扮し、朗読をさらに印象



的に盛り上げました。特に夜空に輝く月に、かぐや姫がほんのりと照らされたような照明が効果的で、物語の世界に思わず引き込まれてゆきました。

二つ目は塩野米松さんの「かぐやのかご」。男の子たちにいじめられる女の子が、竹藪で竹細工職人のおばあさんと出会い、触れ合う内に少しずつ自信を取り戻してゆくというお話。二目一丁、丁寧に編み上げられてゆく竹細工の描写が、自信を取り戻してゆく女の子の気持ちを表しているようでした。

音楽も、この朗読会のために古後公隆さんが作られた楽曲をメインに、ご自身が奏でるチェロの重厚な音と日ノ下慶二さんのピアノの繊細なタッチで、物語が一層心にしみるようでした。また、二つの物語の最後にはヴォーカルの濱平奈津美さんの透明感溢れる歌も入って、夢のようなひとときとなりました。

復活! 月館町老人作品展

震災後休止していた月館町の老人作品展が即売会が昨年11月7・8日、ようやく復活しました。原発事故の影響による農産物への不安も薄まりつつある今、各々から合わせて60名以上のお年寄りが参加して、150点を超える農産物や手工芸品が出品され、そのほとんどが売り切れる盛況ぶりでした。

同時に地元の語り部・田代孝之さんによる昔話語りや芋煮の振る舞い、わら細工の披露もあり、会場は終日賑わいました。わら細工に集まったみなさんも楽しそうに声を弾ませながら、久しぶりの手仕事を楽しんでいるようでした。



日々の暮らしにハーブの香りを〜ハーブ教室

2月29日(月) 「ハーブコスメ」ハーブのリップクリーム作りとハーブの化粧水作り
3月28日(月) 「春のハーブガーデニング」ハーブ開き寄せ植え・ハーブリフォーム

講師：瀧田 勉先生 (ハーブとスローライフの研究者)
参加費：1,800円 (材料費・税込)

月館のソラ

この通信を手にしていらっしゃる方ほとんどは花工房を訪れたことがあるかと思いますが、ここに広がる景色はご存知でしょうか。ただ、季節により、天気により、時間により、様々な表情を見せてくれます。そんな「月館のソラ」を、ほんの少しですがご紹介しましょう。



春は里山に柔らかな衣を着せてくれます。そして、その衣は日々色を変えていきます。



夏の水分をふんだんに含んだ空気が、強い日差しに照らされて雲の峰となって空にそびえます。写真は月館運動場。



2015年の初日の出。年が明けて目に見えて何かが変わるわけではありませんが、元旦に日の出を望む心持ちはまた違うものです。



満月の夕べ。写真では小さくなってしまいますが、肉眼で見ると本当に大きく見えます。そして月夜は大きな蛍光灯で照らされているように景色が明るく見えます。



ちょっと冷え込んだ秋の朝、珍しく雲海のような霧が出ました。太陽によって空気が暖められると、文字通り「霧散」してしまいます。写真は交流館もりもり南側の芝から眺めた景色。

梅見月会席 きさらぎ膳

平成28年2月17日(水)・18日(木)・19日(金)

料金5,400円(税込・飲物別)

1日限定30名様まで、2名様よりご予約いただけます。

会席料理は、言わば和食のフルコース。一品一品を心驚かせながら待つのも楽しみ方のひとつ。

花工房では「梅見月会席」として、ひと足早く春のぬくもりを、

献立とおもてなしで感じていただくよう、スタッフ一同真心込めてご準備しております。

いつもと違います。いつでも違う

たつきだて花工房

のお料理、ぜひ大切な方とご賞味くださいませ。

◆毎回季刊誌楽しみにしています。表紙の写真とてもステキです。白黒だからこそ素朴でとてもいいですね。

お客様の声



◆いつも温かく迎えて下さりスタッフの方々の微笑みに囲まれ、歌って踊って楽しく過ごすことが出来ました。(霊山町 Y.O様)

◆父母が亡くなり故郷に泊まれる唯一の場所です。今後も可能な限り利用したいと思えます。(千葉県 S.G様)

◆木もれ日通信ではみなさまからのお便りを随時募集しております。郵便またはメールでも受け付けております。ぜひお寄せ下さいませ。

◆冬を楽しむ、あんぼ柿、凍み豆腐、ひきな炒り、いか人参。そして炭の掘りごたつで食べる蜜入りリンゴ。福島はおいしい。

◆中年生まれの息子。おぎやーと生まれてはや24年。月日が経つのは早いですね。

◆年末の忙しさも過ぎ、また新たな年を迎えられました。気持ち新たにがんばります！(あか)

木もれ日56号プレゼント

ハーブティ
ハーブマグセット
さらに!
古後公隆さん
オリジナルCD
3名様にプレゼント

ご希望の方は官製はがきに住所、氏名、電話番号、年齢と木もれ日通信56号で印象に残った記事および感想をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送り下さい。平成28年4月25日の消印まで有効です。なお、ご記入頂いた個人情報につきましては花工房が責任を持って管理・保管し、当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させて頂きます。

木もれ日通信55号プレゼント当選者
福島市 加藤幸枝様
静岡県 須崎法子様
伊達市保原町 佐藤ヤスノ様

編集後記

基本的に寒さは苦手、というか嫌いなんだけど、寒いときならでは景色もある。でもやっぱり春が待ち遠しい。(つきはな)

◆基本的には寒さは苦手、というか嫌いなんだけど、寒いときならでは景色もある。でもやっぱり春が待ち遠しい。(つきはな)

◆年末の忙しさも過ぎ、また新たな年を迎えられました。気持ち新たにがんばります！(あか)

◆冬を楽しむ、あんぼ柿、凍み豆腐、ひきな炒り、いか人参。そして炭の掘りごたつで食べる蜜入りリンゴ。福島はおいしい。

休館日 2/16(火)
3/8(火)
4/19(火)

2/8(月)
3/9(水)
4/7(木)

1/24(日)
2/23(火)
3/23(水)

ムーン
セラピー
月の明かりで疲れた
心を癒したい。
いますぐカレンダーにチェック!!

木もれ日通信56号
読者プレゼント
応募券